

# 令和7年度 学校関係者評価書

学校名	北海道芽室高等学校
-----	-----------

組織名	学校評議員会
評価者	学校評議員 5名 (保護者1名含む)

## 1 本年度の重点目標

- (1) 学習指導の充実により、学習に対する意欲・関心を育み、確かな学力の向上を図るとともに、自らの考えを的確に伝え他と共有する態度・能力を育成する。
- (2) 生徒理解を基盤とした生徒指導の充実により、規範意識や基本的な生活習慣の定着を図るとともに、困難に負けない強い心と他を思いやる豊かな心を育成する。
- (3) 発達段階に応じた健康・安全指導の充実により、体力の向上を図るとともに、自他の健康安全を適切に守る態度を育成する。
- (4) 将来像検討委員会を充実させ、「コミュニティスクール」の導入を視野に入れるとともに、地域との連携を図り、地域の教育資源を活用する体制を構築する。

## 2 自己評価結果

大項目	中項目	番号	小項目	自己評価	取組状況等	課題等に対する改善方策	自己評価の適切さ	取組の適切さ	改善方策の適切さ						
学校運営	組織運営	1	生徒・学校・地域社会の実態に即した重点目標、経営方針が設定されている	3.3	3.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校務の効率化に向けた取組の推進(デジタル採点システムや蔵書管理システムの導入、学習活動や校務における生成AIの活用等)</li> <li>○過重労働による健康障害防止のための健康管理医による面接指導の実施</li> <li>○平均超過勤務時間(4~10月)R7:43.1h(R6:54.2h)</li> <li>●業務の平準化を図る業務分担体制の構築</li> <li>●業務内容や業務遂行体制の不断の見直し</li> <li>●同僚性に基づく職員の協働による業務の推進</li> </ul>	A	B	A						
		2	学校経営方針が全教職員に周知され、協働のもと課題解決へ向け機動的に取り組んでいる	3.1											
		3	各会議・委員会をとおして、学年・分掌業務の調整・連携が図られている	3.1											
		4	時間外勤務の縮減及び校務DX化など教職員の健康を保持する取組を進めている	2.6											
	信頼される学校づくり	5	HPの更新や一斉メール送信・懇談・通信をとおして積極的な情報発信・情報交換に努め、説明責任を果たしている	3.1	3.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○町内農家との共同開発『ポップ大福ロール』</li> <li>○町議との共同制作『議会だより』</li> <li>○町内小・中学校のコーラス・英語暗唱大会での審査員</li> <li>○帯広大谷短大教員によるOOJCプレゼミの実施</li> <li>●各分掌・部局等でHP担当者を定めることによるHP更新の活性化</li> </ul>	B	A	A						
		6	地域の関係機関、中学校、保護者と連携した取組を実施するとともに、PTA活動が活発に行われている	3.1											
		教職員の資質向上	7	教職員各自が不祥事を起こさぬよう服務規律保持を意識し、自己管理が適切にできている						3.4	3.2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○不祥事防止に向けた報道記事等の活用による管理職からの適時適切な注意喚起や計画的な職場研修</li> <li>○校内研修 ①小論文指導について ②コミュニティスクールについて ③特別な配慮を要する生徒への対応について</li> <li>●校外研修の成果他職員への還元への推進</li> </ul>	A	A	A
			8	学校課題に基づいた組織的・計画的な研修が実施されるとともに、教職員各自が校外研修や研究活動に積極的に取り組み、成果の還元を図っている						3.1					
教育	学習指導 (教育課程を含む)	9	教育目標、重点目標、生徒の実態を踏まえ、教育課程委員会をとおし、生徒の自己(進路)実現を図るよう教育課程の点検・実施を行っている	3.1	3.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○R10の間口減(教員減)を見据えた教育課程の検討</li> <li>○授業公開週間時に教科毎の授業研究会の実施</li> <li>○生徒による授業評価に基づく授業改善の推進</li> <li>○不登校や入院中の生徒に対する遠隔授業の実施</li> <li>●育成を目指す生徒像を踏まえつつ生徒の自己(進路)実現を支える教育課程編成のための見直しの推進</li> <li>●更なる授業改善を目指した授業公開週間の実施方法の工夫・改善</li> <li>●新年度より導入する学習意欲や進路意識の向上を目的とした学習支援サービスの組織的・実効的な運用体制の構築</li> </ul>	A	A	B						
		10	基礎・基本の確実な定着を目指し、生徒一人ひとりが達成感を得られるよう授業改善を行っている	3.1											
		11	授業形態(アクティブラーニング型の研究)や教材の工夫・改善を図り、自ら学び自ら考え、課題解決に主体的に取り組む資質・能力の育成に努めている	3.2											
		12	評価の観点を明確にし、思考力・判断力・表現力を育成する評価を行うとともに、生徒一人ひとりの学力・学習状況を的確に把握し、個に応じたきめ細やかな指導を行っている	3.1											
	生徒指導	13	挨拶指導を中心に、身だしなみ・言葉遣いの大切さを理解させ、規範意識の育成や基本的な生活習慣の定着を図る指導を機会あるごとに行っている	3.0	3.2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○玄関指導を毎朝実施、校舎内の巡回を適宜実施</li> <li>○担任・副担任による面談週間の年2回の実施</li> <li>○いじめ防止委員会を核とした組織的な取組の推進</li> <li>○いじめの認知件数1件(解消済)</li> <li>○部局活動加入率が例年に比べ増加(加入率72%)</li> <li>●全職員の共通理解・共通歩調による生徒指導の推進</li> <li>●いじめの未然防止に向けた生徒主体の取組の推進</li> </ul>	A	A	A						
		14	個別面談を活用するとともに、保護者・地域・関係機関との連携を密にし、個々の生徒の変容を的確に把握した指導を行っている	3.2											
		15	いじめ防止基本方針に基づく、いじめ未然防止・早期発見・早期解消に向けた取組がなされている	3.3											
		16	生徒会活動、HR活動、ボランティア活動の活性化を図るとともに、生徒の自主性を育成するよう指導している	3.2											
		17	部局活動について、適切な指導計画のもと、自主性を高め、学習との両立を図るよう指導している	3.1											
	活動	進路指導	18	キャリア教育の全体計画に基づき、学年や教科及び関係機関と連携したキャリア教育が実施できている	3.2	3.2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒対象の進路オリエンテーションや進路ガイダンスの実施</li> <li>○保護者対象の進路講演会を実施(3年、1・2年)</li> <li>○就職希望者を対象としたインターンシップの実施(2年35名参加)</li> <li>○教員希望者を対象とした小・中学校でのインターンシップの実施(道教委事業、1~3年11名参加)</li> <li>○職業人講話の実施</li> <li>○ハローワーク職員による就職セミナー等の実施</li> <li>○進学講習、公務員講習の組織的・計画的な実施</li> <li>○冬期集中学習会の実施</li> <li>●進学講習の効果的な実施に向けた見直し</li> <li>●小論文指導の指導方法や指導体制の見直し</li> </ul>	B	A	A					
			19	キャリア教育をとおして職業理解と自己理解を深めさせ、進路意識を向上させることができている	3.2										
			20	進学・就職に向けて、生徒に各種模擬試験、検定取得、講習、模擬面接や就業体験等へ積極的・継続的な参加をさせることができている	3.2										
21			進路に関する情報・資料の収集・活用、生徒・保護者への情報提供・相談を積極的に行っている	3.3											
22			家庭・地域と連携し、社会人として必要とされる能力を高め、進路希望を実現させることができている	3.2											
健康・安全指導	23	健康安全意識の高揚を図るとともに、実効性のある保健講座(薬物乱用防止・性に関する指導など)を行っている	3.5	3.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○帯広警察署員による交通安全、薬物乱用防止、防犯に関する講話の実施</li> <li>○外部講師による性(生)に関する講話の実施</li> <li>○芽室消防署員によるAED・救急救命講習の実施</li> <li>○外部講師によるスマホ教室の実施</li> <li>○芽室消防署と連携した避難訓練の実施(年2回)</li> <li>○町防災担当部局と連携した1日防災学校の実施</li> <li>○スクールカウンセラーによるカウンセリング(毎月1回、延べ16名)</li> <li>●教育相談委員会を核とした全職員による組織的な生徒へのサポート体制の充実</li> </ul>	B	A	A							
	24	保健室利用状況から生徒の実態が把握され、養護教諭と担任・家庭との連携が密にとれている	3.5												
	25	教育相談や特別な支援を必要とする生徒への指導について、関係機関との連携と体制整備が図られている	3.5												
	26	交通安全・防災の意識及び危機対応能力を高めるよう、関係機関と連携し、AED講習・避難訓練・1日防災学校などをとおし効果的な訓練・指導ができている	3.5												
学校運営	事務部運営	27	教育活動に支障がないよう、全職員が協力し、校舎内外の施設・設備の点検・維持管理が適切に行われている	3.0	3.2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○帳簿、通帳、証拠書類等の確実な管理と確認の徹底による適正な会計処理の遂行</li> <li>○全職員による毎月の施設・設備点検の実施</li> <li>●修理や更新が必要な施設・設備について、改善に向けた取組の推進</li> </ul>	B	A	A						
		28	事務と各分掌・学年・委員会との連携(窓口業務を含め)が密にとれている	3.2											
		29	学校事務効率化のために全教職員の協力体制が確立されている	3.1											
		30	全教職員の理解のもと予算が適切に執行され、外郭団体における会計処理が適切に行われている	3.4											